

アニメ「ちびまる子ちゃん」の絵コンテスキャン

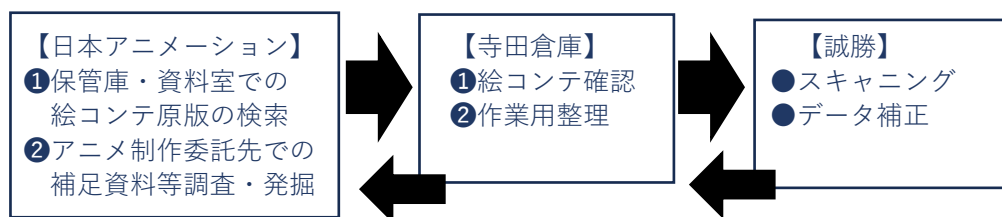
日本アニメーション株式会社

概要／課題

1990年に第一期を放送し、その後、1995年1月8日から現在に至るまで、フジテレビ系列（毎週日曜日・18時～）でTVアニメーションシリーズとして放送を継続している「ちびまる子ちゃん」の絵コンテを、同シリーズ通算1400超におよぶエピソードのデジタル保存第一歩として、デジタルデータ化した。

本事業では、漫画家で原作者である故さくらももこ氏による脚本エピソードを中心に、約200話を抽出し、スキャン作業を実施した。

体制／手法



成果

【成果物】

- アニメ「ちびまる子ちゃん」エピソード別絵コンテのデジタルデータ（各話別データ化・300dpi・HD収録/保管）

【公開予定】

- 公式サイト等での事業報告および公開
(<https://www.nippon-animation.co.jp/news/information/16450/>)
- 2025年に控えた50周年事業における展示企画での活用

【今後の課題】

- 本機会を通じて「絵コンテ」保管の実態把握が前進、保管体制やリストの適時点検、アップデートが急務となった。
- 当該データと、放送別メタデータとの連結などデータの統合を図り、デジタル・アーカイブとしての管理システムの構築

【文化的・社会的・経済的な意義/今後の利活用】

- アニメ制作面では「ちびまる子ちゃん」シリーズ制作における資料として、今まで以上の速度でスタッフ間の共有が可能となり、これによる若手スタッフの作品理解・人材育成の推進強化となる。
- アニメ業界での公開セミナーやワークショップなどで、事例として教材活用するなどデジタルデータの利便性を活かしたアニメ文化普及活動や人材育成活動への協力が可能となる。
- 日本のみならずアジア圏におよんで人気を博している、故さくらももこ氏の業績を漫画・アニメの世界から未来に伝える上で、貴重な史料として閲覧・参照いただけるデータである。

